

## 平成 24 年度口頭発表等一覧

### [企画部]

- ◇FIG Working Week 2012 (世界測量者連盟作業週間 2012) 平成 24 年 5 月 6~10 日 Rome Cavalieri (イタリア国 ローマ)
  - ・How the national mapping organization of Japan responded to the Great East Japan Earthquake? (日本の国家地図作成機関は東日本大震災にどのように対応したか?): 永山 透・稲葉和雄・林 保・仲井博之
- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
  - ・新たな地理空間情報活用推進基本計画と国民の安心・安全: 安藤暁史
- ◇京都大学防災研究所一般研究集会「SAR 研究の新時代に向けて」平成 24 年 9 月 11~13 日 京都大学防災研究所 (京都府宇治市)
  - ・SAR 干渉画像で検出した東北地方太平洋沖地震による地すべり性地表変動: 佐藤 浩・岡谷隆基 (地理地殻活動研究センター)・宮原伐折羅 (地理地殻活動研究センター)
- ◇日本地理学会 2013 年春季学術大会 平成 25 年 3 月 29~31 日 立正大学熊谷キャンパス (群馬県熊谷市)
  - ・測量技術者の資格制度見直しの提案: 佐藤 浩

### [測地部]

- ◇FIG Working Week 2012 (世界測量者連盟作業週間 2012) 平成 24 年 5 月 6~10 日 Rome Cavalieri (イタリア国 ローマ)
  - ・Revision of the results of reference points after the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake (2011 年東北地方太平洋沖地震後の基準点成果改定): 山際敦史・檜山洋平・山尾裕美 (測地観測センター)・矢来博司 (国土交通本省大臣官房)・矢萩智裕 (測地観測センター)・今給黎哲郎 (測地観測センター)・黒石裕樹 (地理地殻活動研究センター)
- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
  - ・位置情報をもっと身近に 一次世代の位置情報サービスを支える基盤整備—: 山際敦史
  - ・新しい VLBI 地球観測プロジェクトとプレート運動: 田邊正
  - ・東北地方太平洋沖地震に伴う基準点測量成果の改定 (測地成果 2011 の構築): 和田弘人
- ◇日本地球惑星科学連合 2012 年大会 平成 24 年 5 月 20~25 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉市美浜区)
  - ・アジア太平洋地域における地殻変動監視: 鈴木啓・宮原伐折羅 (測地観測センター)
  - ・e-VLBI 技術を用いた地球姿勢パラメータの即時算出: 栗原忍・小門研亮・川畑亮二・農澤健太郎 ((株)エイ・イー・エス)
  - ・国土地理院による地磁気測量と地磁気観測所の貢献: 阿部聡・植田勲・後藤勝広 (関東地方測量部)・海老名頼利・白井宏樹
  - ・日本重力基準網と東北太平洋沖地震について: 岡村盛司・宮崎隆幸・河和宏・海老名頼利
  - ・東北地方太平洋沖地震に伴う補正パラメータの評価について: 檜山洋平・岩田昭雄 (中国地方測量部)・湯通堂亨 (企画部)・犬飼孝明 (国土交通本省総合政策局)
- ◇第 21 回ミーツ・ザ・サイエンス 平成 24 年 9 月 8 日 つくばエキスポセンター (茨城県つくば市)
  - ・南極地域での野外活動: 齋田宏明
- ◇京都大学防災研究所一般研究集会「SAR 研究の新時代に向けて」平成 24 年 9 月 11~13 日 京都大学

防災研究所（京都府宇治市）

- ・地震WGの活動について：山中雅之
- ◇日本測地学会第118回講演会 平成24年10月31日～11月2日 仙台市福祉プラザ（宮城県仙台市）
  - ・新しい「VLBI2010」対応観測施設の建設計画：福崎順洋・田邊正・石原操（関東地方測量部）・黒田次郎・栗原忍・小門研亮・川畑亮二
  - ・PSInSARと水準測量による地盤沈下監視の比較：山中雅之
  - ・ジャワ島・スマトラ島における地殻変動監視：鈴木啓・今給黎哲郎（測地観測センター）
- ◇1st International VLBI Technology Workshop（第1回国際VLBI技術ワークショップ） 平成24年10月22～24日 マサチューセッツ工科大学ヘイスタック観測所（アメリカ合衆国ウエストフォード）
  - ・4-station ultra-rapid EOP experiment with e-VLBI technique and automated correlation/analysis（e-VLBI技術と自動化された相関処理/解析を用いた4観測局による迅速EOP計測実験）：栗原忍
- ◇第3回極域科学シンポジウム 平成24年11月29～30日 国立極地研究所（東京都立川市）
  - ・昭和基地におけるVLBI観測とその解析結果：福崎順洋
- ◇VLBI懇談会シンポジウム 平成24年12月18～20日 情報通信研究機構NICT本部（東京都小金井市）
  - ・機関報告：黒田次郎・田邊正・福崎順洋・栗原忍・川畑亮二
  - ・「VLBI2010」対応アンテナの建設：福崎順洋
- ◇21st Meeting of the European VLBI Group for Geodesy and Astrometry (EVGA)（第21回欧州VLBI事業（EVGA）会議） 平成25年3月5～8日 アアルト大学（フィンランド共和国 エスポー）
  - ・4-station ultra-rapid EOP experiment with e-VLBI technique and automated correlation/analysis（e-VLBI技術と自動化された相関処理/解析を用いた4観測局による迅速EOP計測実験）：栗原忍
- ◇日本天文学会2013年春季年会 平成25年3月20～23日 埼玉大学（埼玉県さいたま市）
  - ・広帯域受信電波望遠鏡（パラボラアンテナ）の開発：福崎順洋
- ◇平成24年度国土交通省国土技術研究会 平成24年10月25～26日 国土交通省中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
  - ・GNSS火山変動リモート観測装置（REGMOS）の改良と効果：松村泰敬・豊福隆史・平岡喜文（測地観測センター）・横川正憲（地理地殻活動研究センター）・根本盛行
  - ・高精度ジオイド・モデルがもたらす新たなGNSS測量の可能性 - GNSS測量による標高決定 - ：兒玉篤郎
- ◇釜山大学における講習 平成24年12月18～21日 釜山大学校（韓国釜山市）
  - ・測距儀を用いた地殻変動観測に関する講習：豊福隆史、松村泰敬
- ◇第132回地球電磁気・地球惑星圏学会総会及び講演会（2012年SGEPSS秋学会） 平成24年10月20～23日 札幌コンベンションセンター（北海道札幌市白石区）
  - ・国土地理院の提供する地磁気データについて：阿部聡・森下一・小林勝博・海老名頼利
- ◇平成24年度 Conductivity Anomaly 研究会（SGEPSS分科会） 平成25年1月10～11日 石岡市中央公民館（茨城県石岡市）
  - ・鹿野山測地観測所地磁気観測50年の変遷：白井宏樹
  - ・地磁気秒値準リアルタイム提供の開始について：阿部聡・森下一・小林勝博・海老名頼利

[地理空間情報部]

- ◇日本地球惑星科学連合2012年大会 平成24年5月20～25日 幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）
  - ・電子国土Webシステムによる地図情報の提供：神田洋史、佐藤浩、佐藤壮記、橘悠希子、小菅豊

- ・国土地理院背景地図等データ利用規約の内容：佐藤浩
- ・東北地方太平洋沖地震による地すべり性地表変動の SAR 干渉画像による観測：佐藤浩、岡谷隆基、神谷泉、小荒井衛、(地理情報解析研究室)、山中雅之、鈴木啓、宮原伐折羅、(測地部宇宙測地課)、関口辰夫(応用地理部防災地理課)、原哲也 (エイ・イー・エス)、八木浩司 (山形大)
- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・電子国土基本図の活用状況と防災利用：北村京子

[基本図情報部]

- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・災害復興計画基図整備の取り組みとその利用：首藤隆夫
- ・防災等に役立つ電子国土基本図の効率的な更新への取り組み：長谷川裕之
- ◇防災地理空間情報活用シンポジウム 平成 24 年 6 月 21 日 パシフィコ横浜 (横浜市西区)
- ・災害対応及び防災活動に寄与する国土地理院の地理空間情報：長谷川裕之
- ◇日本国際地図学会平成 24 年度定期大会 平成 24 年 8 月 23～24 日 専修大学生田キャンパス 130 年記念館 (川崎市多摩区)
- ・電子国土基本図の表現の再検討と刊行について：政春尋志・木下章・長谷川裕之・下山泰志・首藤隆夫・大野裕幸
- ◇関西 G 空間フォーラム 2012 年 11 月 16 日 薬業年金会館 (大阪市中央区)
- ・地理空間情報の整備と提供の新たな取り組み：政春尋志
- ◇Séminaire des pays membres de l'UEMOA et de la Guinée sur l'Information Géographiques à Ouagadougou en 2012 (ブルキナファソ地理空間情報広域セミナー) 12 月 18～19 日 Joly Hotel (ブルキナファソ国ワガドゥグ市)
- ・日本における地理空間情報の現状と将来—測量新技術の動向— (仏訳：L'état actuel et la perspective dans l'avenir de la création de l'information géospatiale au Japon - Sous-titre: Evolution de la nouvelle technologie topographique)：政春尋志

[応用地理部]

- ◇「GSDI13 WORLD CONFERENCE」(第 13 回全地球空間データ基盤世界会議) 平成 24 年 5 月 14～17 日 The Quebec City Convention Center (900,boul.René-Lévesque Est, 2e étage Québec (Québec) G1R 2B5) (カナダ・ケベック州ケベックコンベンションセンター)
- ・「The efforts toward development of Global Map」(「地球地図の整備に向けた取り組み」)：福島芳和、中村孝之、大塚 力、飯村威 (中国地方測量部)、岸本紀子、鶴生川太郎、中南清晃 (地理空間情報部)、本嶋裕介、須賀 正樹 (基本図情報部)
- ◇日本地球惑星科学連合 2012 年大会 平成 24 年 5 月 20～25 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- ・地球地図で見る世界：本嶋裕介、中村孝之、大塚力、飯村威 (中国地方測量部)、岸本紀子、鶴生川太郎、中南清晃 (地理空間情報部)、須賀正樹 (基本図情報部)
- ・いわき市南部の航空レーザ測量データを用いたリニアメントの判読：岩橋純子、関口辰夫、小野康 (企画部)、高橋宣代 (北陸地方測量部)
- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・防災のための地理調査：中島秀敏

- ◇G 空間 EXPO シンポジウム 空間情報による災害の記録～東日本大震災以降の新展開 平成 24 年 6 月 22 日 パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
  - ・航空レーザ測量データを活用した三次元建物データの試作：飯田誠
- ◇The XXII Congress of the International Society of Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS) (第 22 回国際写真測量・リモートセンシング学会) 平成 24 年 8 月 25 日～9 月 1 日 「Melbourne Convention and Exhibition Centre (2 Clarendon Street, Melbourne 3006 Australia)」(メルボルン会議・展示センター オーストラリア・メルボルン)
  - ・Global Mapping project – applications and development of version 2 dataset (地球地図プロジェクト第 2 版データセットの作成と利活用)：鶴生川太郎、中村孝之、大塚力、飯村威 (中国地方測量部)、岸本紀子、中南清晃 (地理空間情報部)、本嶋裕介、須賀正樹 (基本図情報部)、小荒井衛 (地理地殻活動研究センター)、岡谷隆基 (地理地殻活動研究センター)

[測地観測センター]

- ◇電子基準点を利用したリアルタイム測位協議会講演会 平成 24 年 5 月 18 日 測量年金会館 (東京都新宿区)
  - ・GEONET の高度化について：根本悟
- ◇日本地球惑星科学連合 2012 年大会 平成 24 年 5 月 20～25 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県美浜区)
  - ・マルチ GNSS による高精度測位技術の開発について：古屋智秋・酒井和紀・辻宏道・豊田友夫・森下一・矢萩智裕・川元智司・畑中雄樹 (地理地殻活動研究センター)・宗包浩志 (地理地殻活動研究センター)
- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
  - ・次世代 GEONET の 2 つの挑戦－GNSS 対応と津波予測支援－：宮川康平
- ◇第 8 回「津波予測技術に関する勉強会」平成 24 年 6 月 12 日 気象庁 (東京都千代田区)
  - ・GEONET による津波予測支援のための情報提供システムの開発：川元智司
- ◇GPS/GNSS シンポジウム 2012 平成 24 年 10 月 24～27 日 東京海洋大学越中島会館 (東京都江東区)
  - ・電子基準点のマルチ GNSS 化：辻宏道・山口和典・古屋智秋・万所求・酒井和紀
- ◇U.S.-Japan Natural Resources Panel on Earthquake Research, Resolution of the Ninth Joint Meeting (天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 地震調査専門部会第 9 回合同部会) 平成 24 年 10 月 9～12 日 コロラド州エステスパーク (米国)
  - ・Developing a GEONET Real-time Processing System for Rapid Earthquake Modeling (迅速な地震モデリングを目的とした GEONET リアルタイム解析システムの開発)：川元智司・宮川康平・宮原伐折羅・辻宏道・山口和典・根本悟・古屋智秋・酒井和紀・畑中雄樹 (地理地殻活動研究センター)・西村拓也 (地理地殻活動研究センター)・太田雄策 (東北大学大学院)・日野亮太 (東北大学大学院)・木戸元之 (東北大学大学院)・飯沼卓史 (東北大学大学院)・藤本博己 (東北大学大学院)、三浦哲 (東大地震研研究所)
- ◇日本測地学会第 118 回講演会 平成 24 年 10 月 31 日～11 月 2 日 仙台市福祉プラザ ふれあいホール (宮城県仙台市)
  - ・干渉 SAR 時系列解析で捕らえた佐賀平野の沈下と GEONET データによる検証：宮原伐折羅・鈴木啓 (測地部)
  - ・新しい GEONET リアルタイム解析の現状と課題：川元智司・宮川康平・宮原伐折羅・辻宏道・山口和典・根本悟・古屋智秋・酒井和紀・畑中雄樹 (地理地殻活動研究センター)・西村拓也 (地理地殻活動研究センター)・太田雄策 (東北大学大学院)・日野亮太 (東北大学大学院)・木戸元之 (東北大学大学院)・飯沼

卓史（東北大学大学院）

- ・マルチ GNSS による高精度測位技術の開発：古屋智秋・辻宏道・矢萩智裕・川元智司・酒井和紀・豊田友夫・森下一・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）
- ◇French-Japanese Seminar on Earthquake and Tsunamis（日仏津波・地震セミナー）平成24年11月13～14日 在日フランス大使館（東京都港区）
  - ・Estimation of earthquake magnitude for tsunami warning through the use of GNSS measurement（津波予測に資するGNSS測位に基づく地震マグニチュード推定手法）：宮原伐折羅
- ◇The American Geophysical Union(AGU) Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合秋期大会）平成24年12月3～7日 ロサンゼルス市（米国）
  - ・Challenge for rapid seismic source estimation from TEC observations on the 2011 Tohoku earthquake（2011年東北地震におけるTEC観測結果から地震源推定への挑戦）：矢萩智裕・Philippe Lognonne(Planetary and Space Geophysics, Institut de Physique du Globe de Paris, Paris, France)・Elvira Astafyeva(Planetary and Space Geophysics, Institut de Physique du Globe de Paris, Paris, France)・Khelfi Khaled(Planetary and Space Geophysics, Institut de Physique du Globe de Paris, Paris, France)・Pierdavide Coisson(Planetary and Space Geophysics, Institut de Physique du Globe de Paris, Paris, France)・Lucie M Rollanf(Geoazur, Sophia-Antipolis, France)
- ◇The 4th Asia Oceania Regional Workshop on GNSS（第4回アジア・オセアニアGNSS地域ワークショップ）平成24年12月8～10日 クアラルンプール市（マレーシア）
  - ・GSI's approach to the era of Multi-GNSS：古屋智秋
- ◇第10回北海道測量技術講演会 平成25年1月31日 札幌第一合同庁舎（北海道札幌市）
  - ・GEONET—GNSS時代の幕開け—：宮川康平
- ◇第7回QZSSユーザミーティング 平成25年2月13日 東京海洋大学越中島会館（東京都江東区）
  - ・国土地理院におけるQZSSに関する取り組み：宮川康平
- ◇第9回「津波予測技術に関する勉強会」平成25年2月13日 気象庁（東京都千代田区）
  - ・GEONETによる津波予測支援のための情報提供システムの開発：川元智司
- ◇平成24年度「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」成果報告シンポジウム 平成25年3月6～8日 東京大学武田先端知ビル（東京都文京区）
  - ・測地測量（観測）事業の動向：今給黎哲郎
  - ・GPS解析技術の高度化：宮川康平

[地理地殻活動研究センター]

- ◇日本地球惑星科学連合2012年大会 平成24年5月20～5月25日 幕張メッセ（千葉県千葉市）
  - ・GPSキネマティック時系列のEOF解析により明らかになった、2011年東北地方太平洋沖地震に関連する一連の地震に伴うすべり分布：宗包浩志
  - ・新潟県出雲崎地区における航空レーザ測量データと樹高・樹木密度の対応：岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛
  - ・2010年房総半島沖のスロースリップ：小沢慎三郎
  - ・干渉SARのコヒーレンス変化から見る平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震に伴う液状化地域：小林知勝・飛田幹男・小荒井衛・乙井康成・中埜貴元
  - ・2011年3月12日長野県・新潟県境付近の地震に伴う地盤災害の特徴：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・小林知勝

- ・小笠原硫黄島の詳細な段丘編年と地殻変動観測による火山活動史の推定：中埜貴元・今給黎哲郎（測地観測センター）・小荒井衛・乙井康成・大井信三（総務部）・佐々木圭一（金沢学院大学）
- ・火山 GPS 統合解析データに基づく霧島山の変動源モデル（続報）Source Model of Kirishima Volcano Based on GPS Integrated Analysis in Volcanic Region（second report）：今給黎哲郎（測地観測センター）・西村卓也
- ・平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余効変動とその発生メカニズム：水藤尚・小沢慎三郎，西村卓也・飛田幹男
- ・地震発生直後における被害の予想：神谷泉・小荒井衛・乙井康成・中埜貴元
- ・インターネット上のサーバーへのアクセス可能性を用いた災害時の状況把握：神谷泉
- ・高分解能数値気象モデルを用いた測位に及ぼす大気擾乱の影響評価：石本正芳
- ・中越地域における地震による活褶曲の成長と斜面変動：小荒井 衛・岡谷隆基・中埜貴元・小松原琢（産業技術総合研究所）・黒木貴一（福岡教育大学）
- ・大地震時に配信する地域の地理的特性の情報について：小荒井衛・神谷泉・乙井康成・中埜貴元
- ・時系列地理情報を活用した人為インパクトによる土地被覆（利用）変遷について：小荒井衛・水谷千亜紀（筑波大学）・中埜貴元
- ・新潟—神戸ひずみ集中帯越後平野付近の詳細地殻変動分布：西村卓也・水藤尚・小林知勝・飛田幹男・加藤照之（東京大学地震研究所）
- ・GPS データによる西南日本の短期的スロースリップの検出（その 2）：西村卓也・松澤孝紀（防災科学技術研究所）・小原一成（東京大学地震研究所）
- ・仙台・石巻平野における津波の流動と土地条件：海津正倫（奈良大学）・北村恭兵（奈良大学）・小荒井衛
- ・平成 16 年新潟県中越地震で生じた斜面崩壊地域の起伏量：黒木貴一（福岡教育大学）・小荒井衛・小松原琢（産業技術総合研究所）・岡谷隆基・中埜貴元
- ◇日本写真測量学会平成 24 年度年次学術講演会 平成 24 年 5 月 21～22 日 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）
  - ・航空レーザ測量技術を用いた液状化沈下量の把握：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・宇根寛（関東地方測量部）・醍醐恵二（浦安市）
- ◇平成 24 年度日本応用地質学会シンポジウム「最近の地形の計測技術と応用地質学の適用」 平成 24 年 6 月 1 日 東京大学柏キャンパス（千葉県柏市）
  - ・衛星リモートセンシングによる地形計測と災害状況把握：小荒井衛
- ◇2012 測量の日特別企画講座 平成 24 年 6 月 3 日 地図と測量の科学館（つくば市）
  - ・地理空間情報から知る津波浸水域と液状化被害域の特徴：小荒井衛
- ◇第 41 回国土地理院報告会 平成 24 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
  - ・東日本大震災における津波災害と液状化災害の地理的特徴：小荒井衛
- ◇東京大学地震研究所金曜日セミナー 平成 24 年 6 月 15 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
  - ・地殻変動データから推定するプレート境界の固着とすべり：西村卓也
- ◇G 空間 EXPO シンポジウム 空間情報による災害調査—東日本大震災以降の新展開 平成 24 年 6 月 22 日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
  - ・MMS で求めた津波浸水深と津波被害の地形的特徴との関連：小荒井衛
- ◇G 空間 EXPO 国土地理院ブース内ミニ講演会 平成 24 年 6 月 22 日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
  - ・地震による地殻変動：今給黎哲郎

- ◇日本沿岸域学会平成24年度「研究討論会」(第25回) 平成24年7月13日～7月14日 東北大学青葉記念会館(宮城県仙台市)
  - ・東日本大震災の津波浸水域の地形と土地利用の特徴:小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元
- ◇GIS-Landslide研究会 平成24年7月28～29日 東北学院大学(宮城県仙台市)
  - ・斜面災害発生地における航空レーザ測量データと樹高・樹木密度の対応:岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛
  - ・東日本大震災における地盤災害のリモセン技術を使った把握:小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基
- ◇建設技術職員専門研修 平成24年8月9日 アバンセ(佐賀県立生涯学習センター4階研修室)(佐賀県佐賀市)
  - ・東日本大震災と日本の地殻変動:今給黎哲郎
- ◇日本測地学会サマースクール 平成24年8月20日 海上保安庁海洋情報部(東京都江東区)
  - ・地殻変動モデルリング:西村卓也
- ◇日本国際地図学会平成24年度定期大会 平成24年8月23～24日 専修大学生田キャンパス(神奈川県川崎市)
  - ・航空レーザ測量データを用いた建物高図の作成:岡谷隆基
  - ・新潟県における歴史時代の液状化痕跡の分布の特徴:中埜貴元・酒井英男(富山大学)・加藤学(新潟県埋蔵文化財調査事業団)
- ◇The XXII Congress of the International Society for Photogrammetry and Remote Sensing(第22回国際写真測量・リモートセンシング学会) 平成24年8月25日～9月1日 メルボルン会議展示センター(オーストラリア,メルボルン市)
  - ・GEOGRAPHICAL INFORMATION ANALYSIS OF TSUNAMI FLOODED AREA BY THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE USING MOBILE MAPPING SYSTEM(MMSを用いた東日本大震災による津波浸水域の地理情報解析):小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元・中村孝之(応用地理部)・長谷川学(応用地理部)
- ◇2012RIMS 共同研究・平成24年度数学・数理科学と諸科学・産業との連携研究ワークショップ「ウェーブレット解析とサンプリング理論」 平成24年9月10～11日 京都大学数理解析研究所(京都市左京区北白川)
  - ・半分散化ウェーブレット変換を応用した測地データの局在化信号分離の試み:黒石裕樹
- ◇京都大学防災研究所一般研究集会「SAR研究の新時代に向けて」 平成24年9月11日～9月13日 京都大学防災研究所(京都府宇治市)
  - ・次なるSAR観測研究に向けて～地殻変動観測ツールとしての有効性と課題の再確認～:小林知勝
- ◇日本地質学会第119年学術大会 平成24年9月15～17日 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市)
  - ・シームレス地質図等の地質情報の災害脆弱性評価への活用:小荒井衛・神谷泉・乙井康成・中埜貴元・齋藤眞(産業技術総合研究所)・宝田晋治(産業技術総合研究所)・西岡芳晴(産業技術総合研究所)
- ◇日本地形学連合2012年秋季大会 平成24年9月22～23日 大阪教育大学天王寺キャンパス(大阪府大阪市)
  - ・新潟県中越地震被災地域・芋川中流域の斜面微地形分類と地震性斜面変動多発地域の特性:小松原琢(産業技術総合研究所)・小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元・黒木貴一(福岡教育大学)
- ◇千葉県議会津波対策議員連盟への説明 平成24年9月27日 千葉県庁(千葉県千葉市)
  - ・地殻変動データに基づく房総沖の固着域と大地震の可能性について:西村卓也

- ◇第2回地震予知研究シンポジウム 平成24年9月29日 大阪国際会議場(大阪市北区)
  - ・GEONET及び測地測量による東北地方太平洋沖地震前の地殻変動：西村卓也
- ◇日本地理学会2012年秋季学術大会 平成24年10月6～7日 神戸大学(兵庫県神戸市)
  - ・Mobile Mapping Systemによる東北地方太平洋沖地震に伴う三陸地域の津波浸水深の計測：岡谷隆基・小荒井衛・中埜貴元
  - ・2012年5月のつくば市における竜巻災害について：小荒井衛・岡谷隆基・神谷泉
  - ・数値地図25000(土地条件)を用いた首都圏の人工改変地の分布特性：中埜貴元・小荒井衛・熊木洋太(専修大学)
- ◇天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)地震調査専門部会第9回合同部会 平成24年10月9～12日 コロラド州レイクウッド市(アメリカ合衆国)
  - ・Detection of short-term slow slip events along the Nankai trough, southwest Japan using GNSS data (GNSSデータを用いた西南日本南海トラフ沿いの短期的スロースリップイベント検出)：西村卓也・松澤孝紀(防災科学技術研究所)・小原一成(東京大学地震研究所)
  - ・GSI activities in response to the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake. (平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震での国土地理院の対応)：齊藤隆・永山透(北海道地方測量部長)・稲葉和雄(国土地理院)・林保(企画部)・仲井博之(企画部)
  - ・Interplate coupling on and around the focal area of the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake, Japan (2012年東北地方太平洋沖地震の震源域およびその周辺のプレート間カップリング)：畑中雄樹・小沢慎三郎・西村卓也・水藤尚
- ◇地理情報システム学会第21回研究発表大会 平成24年10月13～14日 広島修道大学(広島市)
  - ・地理空間情報を活用した自然災害事前予測ー東北地方大震災を事例にー：小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元
  - ・つくば市における竜巻被害に関する写真判読と地理情報解析：小荒井衛・岡谷隆基・神谷泉
  - ・設計図から作成した屋内空間の三次元GISデータの精度について：乙井康成・神谷泉・小荒井衛
- ◇日本地震学会2012年度秋季大会 平成24年10月16～19日 函館市民会館, 函館市民体育館(北海道函館市)
  - ・GNSS地殻変動データから推定される千島海溝沿いのプレート間カップリング：西村卓也
  - ・西南日本の固着状態の時間変化：小沢慎三郎
  - ・PS-InSAR解析による新潟ー神戸ひずみ集中帯(越後平野周辺)の地盤変動抽出の試み：小林知勝
  - ・GEONETによる主要活断層帯周辺での断層すべりの検知能力：水藤尚
- ◇日本測地学会第118回講演会 平成24年10月31日～11月2日 仙台市福祉プラザふれあいホール(宮城県仙台市)
  - ・GPS/験潮観測による地殻上下変動と経年的潮位変化についてー平滑化海面位の楕円体高変化ー：黒石裕樹
  - ・PS-InSAR解析による新潟ー神戸ひずみ集中帯(越後平野周辺)の地盤変動抽出の試み：小林知勝
  - ・キネマティックGPS時系列に含まれる電子基準点の熱傾斜に伴う水平測位誤差について：宗包浩志
  - ・世界の中の日本の測地学-衛星重力ミッションGRACE：宗包浩志
  - ・世界測地系における日本国内の位置基準監視の高度化に向けたVLBI-GPS統合解析手法の検討：高島和宏
  - ・精密基線解析のための電離層遅延補正モデル生成の一手法(その2)：畑中雄樹
- ◇日本写真測量学会平成24年度秋季学術講演会 平成24年11月1～2日 秋田アトリオン(秋田県総合生



活文化会館) (秋田県秋田市)

- ・津波浸水深と建物被害と地形との関係: 小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元
  - ・新潟県出雲崎地区における航空レーザ測量データと樹高・樹木密度との対応: 岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛
- ◇平成 24 年日本応用地質学会研究発表 平成 24 年 11 月 1~2 日 朱鷺メッセ (新潟県新潟市)
- ・平成 16 年新潟県中越沖地震で生じた斜面崩壊と起伏量: 黒木貴一 (福岡教育大学)・小荒井衛・小松原琢 (産業技術総合研究所)・岡谷隆基・中埜貴元
- ◇CSIS DAYS 2012 全国共同利用研究発表大会 平成 24 年 11 月 2~3 日 東京大学柏キャンパス (千葉県柏市)
- ・航空レーザ測量による浦安市の液状化沈下量の面的把握: 中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・宇根寛 (関東地方測量部)
  - ・設計図から作成した三次元 GIS データの精度検証: 乙井康成・神谷泉・小荒井衛
- ◇日仏セミナー地震・津波 平成 24 年 11 月 13 日 在日フランス大使館 (東京都港区)
- ・Crustal deformation map for the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake, detected by InSAR analysis combined with GEONET data (GEONET データを組み込んだ InSAR 解析により検出した 2011 年東北地方太平洋沖地震の地殻変動): 小林知勝
- ◇ALOS-2 CVST 会議 平成 24 年 11 月 13 日 宇宙航空研究開発機構 (茨城県つくば市)
- ・ALOS-2 data processing and possible Calibration/Validation in Geospatial Information Authority of Japan (GSI) (国土地理院における ALOS-2 データ処理と校正・検証作業について): 小林知勝
- ◇第 22 回環境地質学シンポジウム 平成 24 年 12 月 7~8 日 産業技術総合研究所(茨城県つくば市)
- ・活褶曲地帯における地震による斜面変動について: 小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基・小松原琢 (産業技術総合研究所)・黒木貴一 (福岡教育大学)
- ◇第 4 回 ALOS-2/3 ワークショップ 平成 24 年 12 月 12 日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
- ・地殻変動観測ツールとしての ALOS の有効性と課題の再確認: 小林知勝
  - ・SAR 干渉画像による地すべり性変動の抽出: 岡谷隆基
- ◇SAT テクノロジー・ショーケース 2013 平成 25 年 1 月 22 日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
- ・2012 年 5 月のつくば市における竜巻被害の空中写真判読と地理情報解析: 小荒井衛・岡谷隆基・神谷泉
- ◇オルレアン大地球科学研究所セミナー 平成 25 年 2 月 7 日 オルレアン大学(フランス国オルレアン市)
- ・Crustal deformation of northeastern Japan before and after the 2011 Tohoku-oki earthquake, clarified by geodetic measurements (測地観測によって明らかになった 2011 年東北地方太平洋沖地震前後の地殻変動): 西村卓也
- ◇福島県土地家屋調査士会平成 24 年度研修会 平成 25 年 2 月 16 日 郡山ユラックス熱海 (福島県郡山市)・先端技術で地球を見る・知る: 小荒井衛
- ◇平成 24 年度地球水循環研究センター計画研究報告会・CReSS 15 周年研究会 平成 25 年 3 月 5 日 名古屋大学地球水循環研究センター気象学研究室 (愛知県名古屋市)
- ・合成開口レーダーによる測量の精度向上を目指した CReSS 利用の試みについて: 小林知勝
- ◇日本地学オリンピックとつぷレクチャー 平成 25 年 3 月 24 日 産業技術総合研究所共用講堂(茨城県つくば市)
- ・上空・宇宙から地形や災害状況を見る: 小荒井衛
- ◇日本地理学会 2013 年春季学術大会 平成 25 年 3 月 29~30 日 立正大学熊谷キャンパス(埼玉県熊谷市)

- ・全国の地震による地盤災害特性データの作成：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・神谷泉
- ・学校の地理教育における地図の利活用実態調査：岡谷隆基・渡辺俊夫（総務部）・永井博久（基本図情報部）・田中庸夫（関東地方測量部）・佐藤潤（企画部）
- ・魚野川・芋川流域のテフラについて：小荒井衛・小松原琢（産業技術総合研究所）・岡谷隆基・中埜貴元・黒木貴一（福岡教育大学）・古澤明（古澤地質）・鈴木毅彦（首都大学東京）

[関東地方測量部]

- ◇日本地理学会 2013 年春季学術大会 平成 25 年 3 月 29～30 日 立正大学熊谷キャンパス(埼玉県熊谷市)
- ・地理空間情報活用促進に関する国の施策と地理学の役割：宇根 寛